

キャラクター名  
柳木 循(ヤナギ メグル)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エンジェルハイロウ	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16歳	性別	男
覚醒	忘却	衝動	吸血	初期侵食率	34 %
出自	親の理解	経験	親友	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	12
感覚	5	0	0			5	(非装備時)	12
精神	2	0	0			2	戦闘移動	17
社会	0	1	0			1	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		R C	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き猟銃(100以下)	射撃	5r+2	5	29		侵蝕率5。HP5点失い、2点消費。
赫き猟銃(100以上)	射撃	5r+2	5	34		侵蝕率5。HP6点失い、2点消費。
		0				
メジャーコンボ(100以下)	射撃	9r+2	5	31		侵蝕率9。対象2体。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
光使い	ライトプリンガー	P	N	
	玉野椿	P 誠意	N 隔意	
	両親	P 尊敬	N 猜疑心	
	本宮 環	P 好意	N 憐憫	
		P	N	
		P	N	
		P	N	

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
赫き猟銃	5	3	MA	至近	自身			
効果:	HPをLv点失い武器を作成する。破壊の血を使用可。HPがLv点より低くても良い							
破壊の血	5	2	MA	至近	自身		リミット	
効果:	HP2点消費。上記武器の攻撃力+[Lv*3]、ガード値を+5。							
小さな塵	1	2	MJ	武器		射撃		
効果:	攻撃力+[Lv*2]							
ワンショットツークル	2	3	MJ	武器	2体	射撃		
効果:	対象を2体に変更する。シナリオLv回。							
C:エンジェルハイロウ	2	2	MJ			シンドローム		
効果:	C-Lv							
光の指先	2	2	MJ			シンドロ		
効果:	判定ダイス+[Lv+2]個							
マスヴィジョン	3	4	MJ			シンドロ	100%	
効果:	攻撃力+[Lv*5]。シナリオ3回。							
血の兄弟	1	1	メジャー	至近	単体			
効果:	ビブルカード。お互いの血液を交換し、盟約を結ぶ。							
七色の直感	1		メジャー	至近	自身			
効果:	嗅覚と視覚を合体							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

■任務に忙殺され青春を味わえない青年  
華やかな高校生ライフ、楽しい部活動、気になる異性との恋愛  
憧れの高校に入学して、そんな青春を味わうことができる…はずだった。  
ひょんなことからUGNに所属することになった日から青春ライフは遠のいた。  
朝起きて、任務に行って、家に帰って寝て、たまの非番に学校に行っても休んでいる間にグループが構成されていて話し相手がない。  
俺の学校生活、こんなはずじゃなかった…

●潔白な青年  
覚醒したてということもあり、未だジャームを殺害したことも、致命傷に達するまで傷つけたこともない。  
価値観は一般人と大きく違いはない。人殺しはしてはいけないことだと思っているし、人を傷つけることを躊躇う気持ちもある。  
ジャーム相手ではその躊躇いが命になると、教育されているため、敵に向けて引き金を引くことはできる。  
ただ理想を言うのであれば、誰かを傷つけることなく任務が終われば良いとそう願っている。

●親友 本宮環  
小学生の時、名前の順で環が前の席だった。  
話をはじめたきっかけはプリントを手渡しする時の何気ないやりとりだったと記憶している。  
自分の後ろについてくる彼女を見て、幼い自分は気分を良くした。  
4月生まれの自分は彼女よりも"お兄ちゃん"なんだから、俺が彼女を守ってあげなくちゃいけないと息を粗くした時期もある。  
高校生になった今でも、どんくさい彼女が困っていたら助けてやらないといけない義務感を抱き続けている。

一人称 俺